

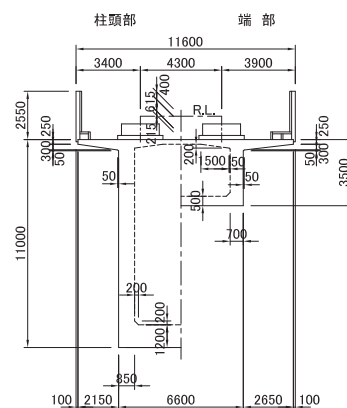
吾妻川橋梁

Agatsuma Bridge

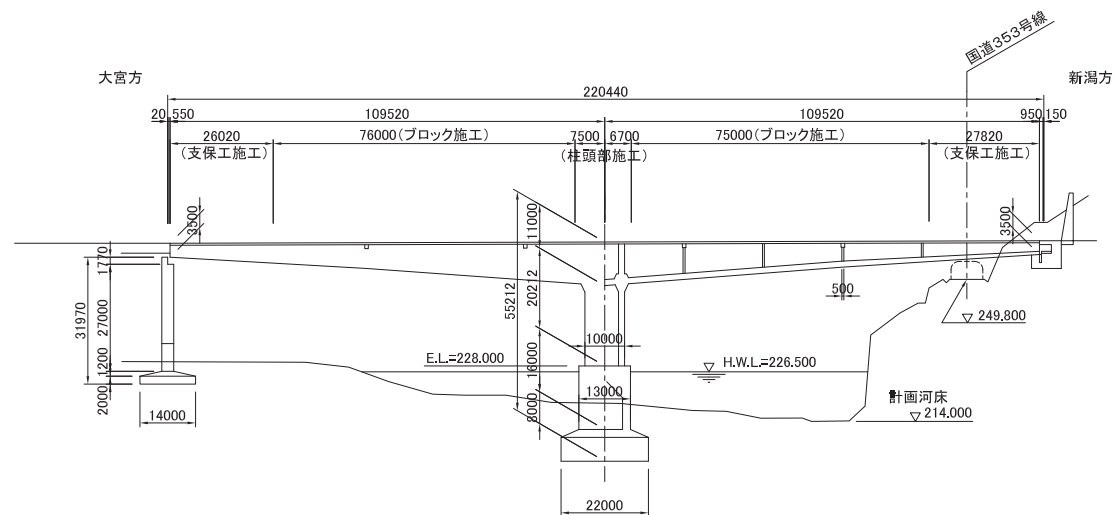
吾妻川橋梁は、群馬県渋川市西方を流れる一級河川吾妻川と、国道353号線を新幹線が斜角60°で横切る地点に架設された長大橋です。構造形式は、道路、河川管理者との協議もさることながら、左岸に子持山、右岸に榛名山を望んで河岸段丘地帯を流れる吾妻川の渓谷美に生える美しい橋梁に主眼をおいて選定したものです。

この橋梁の構造的特徴は、施工性、維持管理を考慮して柱頭部を剛結合したことで、鉄道橋としては初めての構造形式を持った長大橋です。

橋種(活荷重)	鉄道橋
構造形式	PC2径間連続ラーメン橋
橋長	220.44m
最大支間	109.52m
施工法	場所打ちカンチレバー工法
定着方法	ディビダーク工法
所在地	群馬県渋川市
発注者	日本鉄道建設公団
完成年	1978年
共同設計会社	日本交通技術(株)上部工、橋台設計担当
昭和53年度	土木学会田中賞 作品部門受賞作品



断面図



側面図